

2025年度（令和7年度）

三大学連合複合領域コース履修案内

東京科学大学 理工学系

三大学連合複合領域コースとは

平成13年3月、東京医科歯科大学、一橋大学、東京外国語大学、東京工業大学は四大学連合憲章を締結し、その憲章に基づき、相互の交流と教育課程の充実を図ることを目的として、複合領域コースが設置されました。

この四大学連合憲章は、令和6年10月、東京医科歯科大学と東京工業大学の統合により、三大学連合憲章となりました。

所属大学で専門的な知識と技術を身につけながら三大学連合の協定大学等で新たな専門分野を学ぶことにより、従来の高等教育では育成できなかった広範囲の学際的分野の知識を有した学生の輩出と、編入学や複数学士などの方法による学生の勉学・進路にかかわる選択肢の拡大を目指しています。

複合領域コースの受講者は、各コースが定める履修科目の所要単位を修得した場合、所定の手続きを経てコース修了が認定されます。本学学院における複合領域コースの出願資格は、系に所属、または翌年度に系所属予定の学士課程学生です。受講の可否は、本学の複合領域コースを担当する教員と学生が所属する系主任等による選考を経て決定されます。

出願手続期間、受講の可否および協定大学及び医歯学系に関する情報等はホームページ等で周知しますので注意してください。(出願時期は概ね10月上旬から11月中旬を原則として年度毎に周知します。)

Confederation of the Three Universities (Multidisciplinary Program)

In March 2001, Tokyo Medical and Dental University, Hitotsubashi University, Tokyo University of Foreign Studies, and Tokyo Institute of Technology concluded an agreement launching the Confederation of the Four Universities, which resulted in the establishment of the Multidisciplinary Program. All member universities seek to expand mutual exchanges and enhance their curriculum offerings through this agreement.

In October 2024, the Confederation of the Four Universities became the Confederation of the Three Universities due to the integration of Tokyo Medical and Dental University and Tokyo Institute of Technology.

The Multidisciplinary Program provides students with the opportunity to pursue advanced studies in a specialized field at partner universities etc., while continuing their professional and technological education at their affiliated universities. Participating students will be able to gain multidisciplinary knowledge across a greater breadth than was previously possible in higher education. This agreement also aims to provide students with academic alternatives in their studies or advancement to higher-degree programs such as transfers and multiple bachelor's degrees.

When students participating in the Multidisciplinary Program have earned the required number of credits from each participating university in their chosen courses, they become eligible for a certificate of completion. Applicants for the Multidisciplinary Program in Science Tokyo must be undergraduate students currently affiliated with a department or those who plan to join a department in the following year. Permission to enroll is granted after a selection process by faculty members in charge of the Multidisciplinary Program at Science Tokyo and the department chairs of the students' affiliated departments.

Important information regarding application instructions, selection results, programs available at partner universities, etc. will be announced on our website. The application period generally begins early October and ends mid-November every year.

* Courses designated by the program will be provided in Japanese (with some exceptions).

目 次

① 複合領域コースの履修案内	P.3
1 出願資格等	
2 出願手続き等	
3 履修申告・単位認定及び成績	
4 履修案内	
5 複合領域コースの出願・履修・修了手続きの流れ	
6 三大学連合複合領域コース（理工学系学生向け）：ホームページ案内	
② 複合領域コース・各コースの概要	P.9
【3大学間(4分野)コース：	
東京科学大学(理工学系分野・医歯学系分野)－東京外国語大学－一橋大学】	
1 海外協力コース	
【2大学間(3分野)コース：東京科学大学(理工学系分野・医歯学系分野)－一橋大学】	
2 総合生命科学コース	
3 生活空間研究コース	
【2大学間(2分野)コース：東京科学大学(理工学系分野)－一橋大学】	
4 科学技術と知的財産コース	
5 技術と経営コース	
6 文理総合コース	
【2大学間(2分野)コース：東京科学大学(理工学系分野)－東京外国語大学】	
7 国際テクニカルライティングコース	
③ 複合領域コース関係の諸規則	P.16
・三大学連合憲章	
・複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書	
・「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目	
・東京科学大学学則（抄）	
④ 【参考1】各種様式一覧	P.22
⑤ 【参考2】コース別授業科目一覧	P.28

①複合領域コースの履修案内

1. 出願資格等

(1) 出願資格

本履修案内に記載の複合領域コースの対象は、東京科学大学理工学系（以下「理工学系」と言う。）の学士課程学生で、系等に所属する学生を対象とします。

(2) 学生の身分

東京外国語大学及び一橋大学（以下「協定大学」と言う。）においては「特別聴講学生」となります。本学医歯学系（以下「医歯学系」と言う。）においては別の身分は発生しません。

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料・入学料及び授業料は徴収しません。

(4) 履修科目

協定大学及び医歯学系で履修できる授業科目は、コースごとに定められている授業科目とします。（巻末の「コース別授業科目一覧」参照）

なお、協定大学及び医歯学系の授業内容の詳細については、各大学等のシラバス等を参照してください。

(5) 履修計画

所属大学の異なるキャンパス間や、協定大学までの通学時間及び所属大学での履修計画等を充分考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。本学及び協定大学の時間割上、受講できない科目については、履修を行うことは出来ません。

なお、コースごとに所属大学及び協定大学で修得する単位数が異なりますので、留意してください。

(6) 履修期間

原則として、履修する授業科目等が開講されている授業期間（クォーター・学期又は年度）とします。

(7) 受入条件

協定大学及び医歯学系で受け入れる学生の条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入学生数、各種日程等）については、協定大学及び医歯学系で決定します。

履修希望者は、原則として必ずいずれかのコースに所属することとします。

(8) 評価の方法

授業科目の評価（試験、レポート等）の方法については、協定大学の規則によることとします。

(9) 協定大学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができます。

通学及び施設を利用する際には、協定大学が発行する「特別聴講学生証」及び所属大学学生証を携行し、求めに応じて提示してください。

2. 出願手続き等

(1) 出願期間

複合領域コースを志願する学生は、所属大学が定める所定の期間に手続きを行ってください。

(2) 出願方法

出願は、所属大学を通じて行います。出願者は所定の期間に、所属大学及び協定大学が定める書類を提出してください。

なお、理工学系の学生で履修を希望する者の出願方法は以下のとおりです。

<理工学系学生の出願方法>

【出願期間】 2024年10月9日（水）～2024年11月14日（木）

【出願方法】 教務 Web システムのアンケート「三大学連合複合領域コース出願」から、
出願（顔写真データ（縦型4×3）のアップロードが必要です）。

※既に系所属している学生で出願を希望する場合は、出願期間最終日より前に、三大学連合複合領域コース担当（yondai@jim.titech.ac.jp）宛にメールにてご連絡ください。アンケートフォームをお送りします。

【履修可否の発表】 2025年4月1日（火）<予定> メールにてお知らせします。

【備考】・上記期間以外に募集は行いませんので、必ず期間内に申請してください。

・最終日はサーバーが混み合う可能性がありますので、期日に余裕をもって出願手続きを行ってください。

(3) 履修の可否及び通知

所属大学の定める方法により履修の可否が決定されます。決定通知は、所属大学の定める方法により通知されます。

(4) 履修辞退の手続き

履修を辞退する場合は、所属大学の担当係に相談の上、所定の手続きを行ってください。

3. 履修申告・単位認定及び成績

(1) 履修申告

所属大学の授業科目を含め、年間48単位を上限とします。なお、東京科学大学の学院における学修に関する細則第7条第3項及び第4項に該当する学生においては、この限りではありません（56単位又は52単位とする取り扱いを適用します）。

(2) 単位認定

協定大学及び医歯学系からの成績通知に基づき、単位が授与されている授業科目については、所属大学の定める規程等により単位を認定します。（認定される単位は60単位までです。60単位には、三大学以外の単位互換協定大学や留学中の大学で単位を修得し本学で単位認定された単位、本学入学前の他大学の既修得単位も含めますので注意してください。）

(3) 学業成績

協定大学及び医歯学系の単位を認定された授業科目の所属大学の「成績」への記載は、協定大学及び医歯学系における成績をそのまま転記します。なお、その際の授業科目の名称は、協定大学及び医歯学系の複合領域コースの開講授業科目名をそのまま記載します。

<理工学系学生の複合領域コースに係る単位の取扱いについて>

【理工学系で修得した科目】

本学理工学系の科目区分に応じた取扱いとなります。複合領域コースの科目であることでの特別な取扱いはありません。

【医歯学系で修得した科目】

成績については点数表示ではなく「合格」もしくは「不合格」という表示となります。
科目区分は「**横断科目**」となります。

【協定大学で修得した科目】

成績については点数表示ではなく「認定」もしくは「不合格」という表示となります。
科目区分は「**系専門科目（標準学修課程外）**」となります。

(4) 証明書の発行

複合領域コースの成績については、所属大学が発行する成績証明書及び単位修得証明書に記載されます。

(5) その他

その他、三大学連合憲章の趣旨に従い、修了を認定された者は将来これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材となるよう求められます。

4. 履修案内

(1) 協定大学及び医歯学系の所在地と問い合わせ先

【東京科学大学 理工学系】

大岡山キャンパス 目黒区大岡山 2-12-1
東急大井町線・目黒線 [大岡山駅] 下車徒歩 1 分
すずかけ台キャンパス 横浜市緑区長津田町4259
東急田園都市線 [すずかけ台駅] 下車徒歩 5 分
教務課三大学連合複合領域コース担当：TEL 045-924-5933
ホームページ <http://www.isct.ac.jp/>

【東京科学大学 医歯学系】

湯島キャンパス 文京区湯島 1-5-45
教育推進部教務課教育事業支援グループ TEL 03-5803-5073
教育推進部教務課湯島教務室医学教務グループ：TEL 03-5803-5919
教育推進部教務課湯島教務室保健衛生教務グループ：TEL 03-5803-5121
教育推進部教務課湯島教務室歯学教務グループ：TEL 03-5803-5411
教育推進部教務課湯島教務室口腔保健教務グループ：TEL 03-5803-5104
教育推進部教務課湯島教務室大学院教務第2グループ：TEL 03-5803-4534
JR 中央線 [御茶ノ水駅] 下車徒歩 5 分
所要通学時間：大岡山キャンパスから38分
：すずかけ台キャンパスから77分
市川市国府台 2-8-30
教育推進部教務課湯島教務室国府台教務グループ：TEL 047-300-7106
JR 総武線 [市川駅] 下車バス10分
所要通学時間：大岡山キャンパスから80分
：すずかけ台キャンパスから115分
ホームページ <http://www.isct.ac.jp/>

【東京外国語大学】

府中市朝日町 3-11-1
教務課教務係：TEL042-330-5168
西武多摩川線 [多磨駅] 下車徒歩 5 分
所要通学時間：大岡山キャンパスから70分
：すずかけ台キャンパスから92分
又は京王線 [飛田給駅] 下車徒歩20分
所要通学時間：大岡山キャンパスから65分
：すずかけ台キャンパスから78分
ホームページ <http://www.tufts.ac.jp>

【一 橋 大 学】

国立市中 2-1
学務部教務課教務第二係：TEL 042-580-8114
JR 中央線 [国立駅] 下車徒歩 6 分
所要通学時間：大岡山キャンパスから 6 5 分
：すずかけ台キャンパスから 6 7 分
ホームページ <http://www.hit-u.ac.jp>

(2) 協定大学及び医歯学系の授業時間割（2025.04.01予定）

【東京科学大学 理工学系】

1-2時限	8:50 - 10:30
3-4時限	10:45 - 12:25
5-6時限	13:30 - 15:10
7-8時限	15:25 - 17:05
9-10時限	17:15 - 18:55

【東京科学大学 医歯学系】

	歯学科 保健衛生学科・ 口腔保健学科・ リハビリアーツ研究教育 院	医学科		修士課程	修士課程 MMA コース
1講	8:50 - 10:30	8:50 - 10:20	1限	8:50 - 10:20	18:00 - 19:30
2講	10:45 - 12:25	10:45 - 12:15	2限	10:45 - 12:15	19:40 - 21:10
3講	13:30 - 15:10	13:30 - 15:00	3限	13:30 - 15:00	
4講	15:25 - 17:05	15:25 - 16:55	4限	15:25 - 16:55	
5講	17:15 - 18:55	17:15 - 18:45	5限	17:15 - 18:45	

【東京外国語大学】

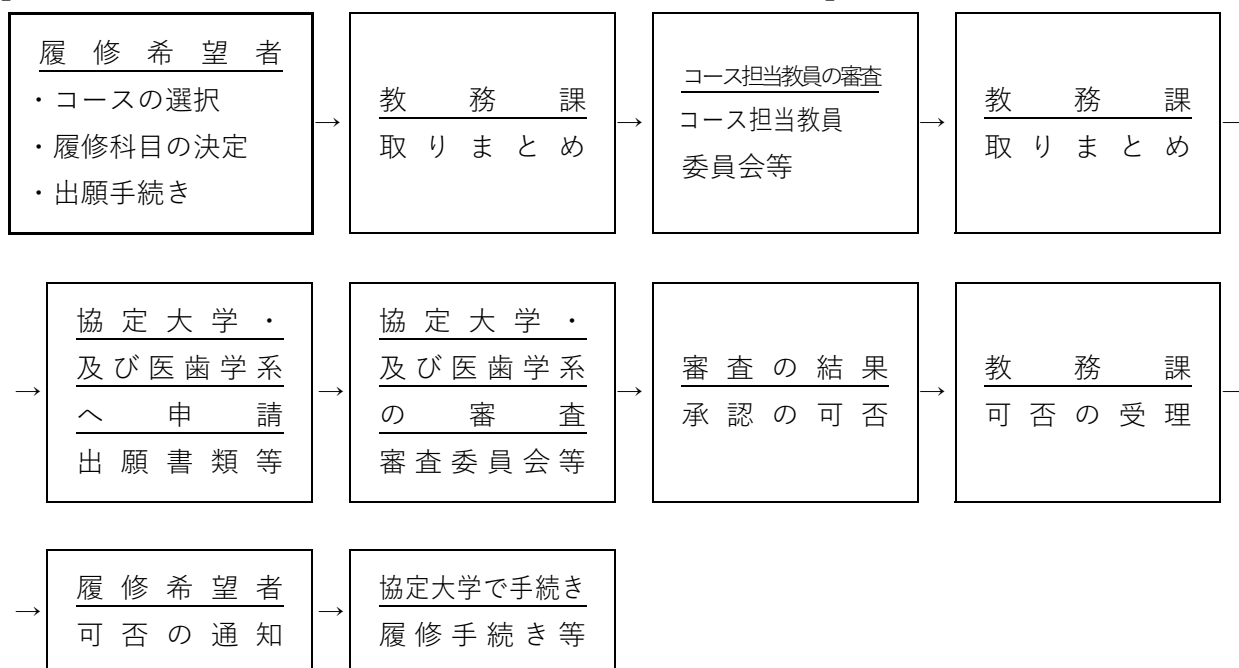
第1時限	8:30 - 10:00
第2時限	10:10 - 11:40
第3時限	12:40 - 14:10
第4時限	14:20 - 15:50
第5時限	16:00 - 17:30
第6時限	17:40 - 19:10
第7時限	19:20 - 20:50

【一橋大学】

第1時限	8:45 - 10:30
第2時限	10:45 - 12:30
第3時限	13:15 - 15:00
第4時限	15:15 - 17:00
第5時限	17:10 - 18:55

5. 複合領域コース出願・履修・修了手続きの流れ

【理工学系学生が協定大学及び医歯学系の授業科目を履修する場合】



【所属から修了までの例】

時期	内容
○1年目	
10月上旬	三大学連合複合領域コース説明会
説明会実施日～11月中旬	出願期間
12月～3月	コース所属審査（コース担当教員，委員会等）
○2年目～4年目	
4月初旬	メールにて選考結果発表
4月初旬～ （3年目以降の前期科目は 3月下旬～） （後期科目は8月下旬～）	前後期各大学対象科目一覧の掲載
	協定大及び医歯学系科目：教務課（理工学系担当）で履修申請
	各大学の科目を受講
○4年目	
12月中旬～2月上旬	複合領域コース修了申請
2月中旬～	修了審査
3月下旬	学位記授与式にて複合領域コース修了証書授与

6. 三大学連合複合領域コース（東京科学大学理工学系の学生向け）：ホームページ案内

理工学系学生向け三大学連合複合領域コースに関する連絡事項や最新情報等を掲載しています。複合領域コースに興味のある学生は、是非確認してください。

東京科学大学 HP → 授業・履修・学位 → 系所属・教育プログラム等 →
他大学科目の受講 → 【理工学系学生用】三大学連合複合領域コースホームページ



②複合領域コース・各コースの概要

— コースのねらいについて —

◎3 大学間(4 分野)共通コース：

東京科学大学(理工学系分野・医歯学系分野)，東京外国語大学，一橋大学

1. 海外協力コース

(1) コースのねらい，趣旨

海外協力（および国際的な技術・社会開発）においては，海外に対する広い視野と見識及び卓越した専門技術・知識を習得した人材が不可欠である。もとより，このような人材を育成する努力は各大学で行われているが，3 大学（4 分野）が協力することにより，さらに幅広い見識及び能力を有する人材を育成することを目的とする。

すなわち，各大学の多様なバックグラウンドを持つ学生が，本コースにより他分野の素養と海外に対する広い視野，見識を身につけ，グローバル化社会で活躍することを可能にする。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○江頭竜一（融合理工学系）

医歯学系 担当者：大橋健一（人体病理学分野）

東京外国語大学 担当者：投野由紀夫（総合国際学研究院）

一橋大学 担当者：深澤一弘（森機構）

コース定員 ：若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 12 単位

他大学/他分野 各大学/分野 2 単位以上合計で 8 単位以上

$\boxed{12} - 4 - 2 - 2$ ， $\boxed{12} - 3 - 3 - 2$

単位数（□内は自大学/自分野－他大学/他分野－他大学/他分野－他大学/他分野）

◎2 大学間(3 分野)共通コース：東京科学大学(理工学系分野・医歯学系分野)，一橋大学

2. 総合生命科学コース

(1) コースのねらい，趣旨

人間は生物学的な存在であると同時に社会的存在でもあることはいうまでもない。また，近年の生命科学の進歩は著しく，人間のゲノム解析も終了した中で，社会との関わりなど，広い視野をもつ人材が強く望まれている。

本コースでは，生命現象の基本とその応用，さらには人間の社会的存在を支える社会科学的な

側面，特に法律的な側面ならびに言語・心理学的な側面について講義を行う。基礎医学・生物学的な面から，発生学・細胞生物学・分子生物学などに加えて，解剖学・生理学，あるいは脳の世紀を迎えて発展の著しい神経科学の講義を実施する。また，生命工学の視点からは，ゲノム情報・遺伝情報の基礎とその応用について講義を行う。これらの講義を通じて，生物・生命について考究する。加えて，医療と法律との関連について講義する。特に憲法・民法・刑法といった法律や生命倫理学からみた生殖医療などについての講義を行う。さらに，臨床医学の分野については，癌に関する基礎と臨床や法律との関連の深い救急医療などに関して講義を実施する。

このようなコースを開設し，医学・歯学・理学・工学・法学・社会学を横断する知識を有する人材の育成を図る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○中村信大（生命理工学系）

医歯学系 担当者：秋田恵一（臨床解剖学）

一橋大学 担当者：長塚真琴（法）

コース定員 : 若干名

コース修了要件：自大学/自分野，他大学/他分野を問わず，各大学/分野から最低4単位ずつを履修し，総単位数20単位以上

$(\boxed{4} - 4 - 4) + 8$ （□内は自大学/自分野単位数）

単位数（自大学/自分野－他大学/他分野－他大学/他分野）＋いずれの大学/分野の単位でも可

3. 生活空間研究コース

(1) コースのねらい，趣旨

人類はその長い歴史の中で，様々な危険から自分たちの生命と財産を守るための生活空間を構築してきた。飢餓の恐怖から脱出したかに見える現代人はさらに一層の生活空間の快適化を求めているが，同時に現代文明の発達に伴い生成された副産物の逆作用の危険に直面している。

日本の現状に目を向けるならば，国土の保全，都市の開発，住居の建築と維持管理，交通の計画と管理，衛生と健康の改善と管理など，生活空間の安全化と快適化に関与する経済活動や就業人口がきわめて膨大なものであり，私たちが，供給できる資金や人的エネルギーの相当大きな割合をそれらに振り向けていることは間違いない。しかしながら，残念なことに，私たちはそうした資金や人的エネルギーの投下量に見合った「安心」，「快適さ」，「満足感」を獲得しているとはいえない。複雑化し，高度化しつつある現代社会は専門家たちの専門領域を越えた協働を不可欠のものとしているし，そうした協働の基盤となる複合領域的な性格の知識，スキル，意志決定力をこれらの専門家たちが具備することが必要とされてきている。

例えば，物質的な自然の状況に加え，歴史，文化，産業，住民の健康，自治体の財政など地域社会の全体構造をふまえてもっとも望ましい開発計画を策定し，実行しうる土木技術者，といった

存在はその一例であろう。

生活空間コースは、土木工学、衛生学、公共システムに関する経済学・経営学、地域・都市と人口・労働に関する社会学・経済学などの異なる専門領域の専門家の交流と協働により、安心、安全、快適な生活空間の創造に貢献しうる知識とスキルと決断力を持つ人材の育成を目指している。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○真田純子（土木・環境工学系）、藤井 学（土木・環境工学系）

医歯学系 担当者：相田 潤（健康推進歯学）

一橋大学 担当者：堂免隆浩（社）

コース定員 若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 12 単位

他大学/他分野 以下の組み合わせのとおり

$\boxed{12} - 8 - 0$, $\boxed{12} - 6 - 2$, $\boxed{12} - 4 - 4$

単位数（□内は自大学/自分野－他大学/他分野－他大学/他分野）

◎ 2 大学間(2 分野)コース：東京科学大学(理工学系分野)，一橋大学

4. 科学技術と知的財産コース

(1) コースのねらい、趣旨

科学技術の発展には、技術開発の環境を整えるとともに、開発された技術について、特許権等の知的財産権による保護が必要である。また、先端科学技術については、従来の知的財産権の法的保護の枠組みで捉えられないものがある。技術もしくは法律の専門を目指す学生も、科学技術が知的財産であるという認識を持つことが今後ますます重要になると考えられる。

そこで、本コースでは、先端科学技術の現状とその知的財産権としての保護に関して、理論上と実務上の問題を多角的な視野から学び、知的財産の重要性を理解することを目的とする。そして、このような理解を通じて、科学技術と知的財産という従来区別されてきた専門領域から、いわば“発明する側”と“活用及び保護する側”の視点を持った、複合的な知識と思考を持った学生が育つようになると考えられる。

さらに、科学技術の急速な変化や国際性に配慮する必要があり、本コースでは、最新のバイオやインターネット技術についても実例を取り上げながら、発明者ならびに科学技術の法的保護を専門とする弁理士や弁護士を招く複数の講義を開講する。

両大学の学生のうち、将来の進路として、弁理士や知的財産分野で活躍する企業人を目指す学生、科学技術の分野を専門とする法曹を目指す学生に対して、技術ならびに法律の側面から必要となる内容の講義を開講する。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○金子宏直（リベラルアーツ研究教育院）

猪原健弘（リベラルアーツ研究教育院）

一橋大学 担当者：長塚真琴（法）

コース定員 : 若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 14 単位

14 - 6 単位数（□内は自大学/自分野単位数 - 他大学）

5. 技術と経営コース

(1) コースのねらい、趣旨

情報技術のめざましい発展が経済社会にとどまらず社会全般に影響を与えたように、新しい技術の開発が産業システムや企業経営に大きな影響を及ぼす。新技術がどのようなインパクトを社会に与えるか、また、社会がどのような技術開発を望んでいるのか、さらに技術導入や技術移転が地域社会にどのような影響を及ぼすかなどを学ぶことは経済・商学系のみならず理工系の学生にとっても必要である。

本コースは、技術と経営を広い視野でとらえ社会との関わりを探求できる人材の育成を目指すものである。本コースは、本学理工学系と一橋大学の“強み”を生かし、ゼミナール履修により「議論に強い東京科学大生」を、実験系科目履修により「実体に対する確固たるイメージを持っている一橋大生」を育成することを目的としている。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。詳細については、担当者に問い合わせのこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○妹尾 大（経営工学系）、永田京子（経営工学系）

一橋大学 担当者：福地宏之（商）

コース定員 : 若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 8 単位

8 - 12 単位数（□内は自大学/自分野単位数 - 他大学）

6. 文理総合コース

(1) コースのねらい、趣旨

文系の一橋大学と理系の東京科学大学理工学系のメリットを生かし、一橋大生に東京科学大の主として数理系科目及び社会科学系科目を履修させるとともに、逆に東京科学大生には一橋大の文系の専門科目を履修させることにより、文理の総合的かつインターディシプリナリーな専門教育の機会を広げることを目的とし、文理の垣根を越えた幅広い視野を持った人材を育成する。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○大和毅彦（経営工学系）

一橋大学 担当者：中山能力（経）

コース定員 : 若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 12 単位

(12 - 8) 単位数（□内は自大学/自分野単位数 - 他大学）

◎ 2 大学間(2 分野)コース：東京科学大学(理工学系分野)，東京外国語大学

7. 国際テクニカルライティングコース

(1) コースのねらい、趣旨

近年の急速で著しいグローバル化、ボーダーレス化の進展に伴い、企業の海外進出のみならず産業の国際的再編が日常的に行われる時代が到来している。技術者にとっても外国語の文献を読む能力だけでなく、最新の技術情報を論文や仕様書として発信し、成果を発表し外国語で交渉できる能力が必須となってきている。また、技術者と一緒になって、技術言語を理解し、外国事情に通じ、外国語を駆使できるエキスパートとしての産業人の養成も強く求められている。

このコースでは、こうした産業界から強く求められている国際的エンジニア、及びテクニカルライターを養成し、グローバル化された国際ビジネスのエリアに優れた人材を供給することを目的とする。

このコースのコアカリキュラムとしては、実用性の高い外国語能力と工学の基本思想とに精通した専門家の養成を目指す。英語を中心とする国際語に精通するだけでなく、日本の産業界との結びつきの強い、アメリカ、アジア、ヨーロッパ、南米の各外国語及びそれら地域の文化や事情にも通じた国際人の養成を行う。同時に、少なくとも工学の主要分野の概論修得を必須とする。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○田村斉敏（リベラルアーツ研究教育院）

東京外国語大学 担当者：川本渚凡（英語），大谷直輝（英語）

コース定員 ： 若干名

コース修了要件：総単位数 20 単位以上

自大学/自分野 10 単位

10 - 10 単位数（□内は自大学/自分野単位数－他大学）

<参考> 理工学系の学生のコースと修了要件まとめ

No.	コース名	修了要件 (□内は自大学/自分野単位数)	
1	海外協力コース	総単位数 20 単位 以上	自大学又は自分野：12 単位 他大学又は他分野：各大学（東京科学大学においては各分野）2 単位以上で合計 8 単位以上 12 - 4 - 2 - 2, 12 - 3 - 3 - 2
2	総合生命科学コース		自大学又は自分野，他大学又は他分野を問わず，各大学又は各分野から最低 4 単位以上 (4 - 4 - 4) + 8（いずれの大学・分野も可）
3	生活空間研究コース		自大学又は自分野：12 単位 他大学又は他分野：以下の組み合わせのとおり 12 - 8 - 0, 12 - 6 - 2, 12 - 4 - 4
4	科学技術と知的財産コース		自大学又は自分野：14 単位 (14 - 6)
5	技術と経営コース		自大学又は自分野：8 単位 (8 - 12)
6	文理総合コース		自大学又は自分野：12 単位 (12 - 8)
7	国際テクニカルライティングコース		自大学又は自分野：10 単位 (10 - 10)

< 参考情報 >

以下のコースは2024年度で募集を停止しました。

2025年度以降は出願できません。

◎ 2 分野間コース：東京科学大学理工学系，医歯学系

医用工学コース

(1) コースのねらい，趣旨

工学系の学生には医学の基礎知識を，医学系の学生には工学の基礎知識を学ばせ，医用マイクロマシン，医療用ロボット，ドラッグデリバリーシステム，人工臓器，人工血液，人工骨，医用材料，医用計測などの先端テクノロジーに対する知識，関心を呼び起こし，課題探究型の実践的研究者，技術者の下地を作る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東京科学大学

理工学系 担当者：○吉川史郎（応用化学系）

医歯学系 担当者：青木和広（口腔基礎工学分野）

コース定員 ：若干名

コース修了要件単位数：14－6

単位数（自分野－他分野）

③複合領域コース関係の諸規則

四大学連合憲章

21世紀を迎えた今、グローバル化された社会において、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立することを基本的理念とし、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、ここに、四大学連合を結成する。

四大学連合は、連合を構成する各大学が、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の研究教育の更なる推進を図ることを目的とする。

各大学が相互に連携を図るにあたっては、各大学が、それぞれ異なる分野の学部、研究科及び研究所等を有していることを踏まえ、

- ① 履修や進学に関して、学生の選択の幅を拡大し、より良い教育体制を確立すること。
- ② 共同研究プロジェクトや学際的な研究領域での協力を行うことにより、国際的な研究水準の維持・達成を目指すこと。
- ③ 海外の大学との連携により、研究教育の更なる発展・向上を目指すこと。

という三点を具体的な目標として、学生、教員及び研究者の交流を図り、各大学の研究教育の水準を一層向上させるよう努力するものとする。

2001年3月15日

東京医科歯科大学長
鈴木章夫

東京外国語大学長
中嶋嶺雄

東京工業大学長
内藤喜之

一橋大学長
石 弘光

「四大学連合憲章」及び「複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書」 に関する合意書

2001年3月15日付けで締結した四大学連合憲章（以下「憲章」という。）及び2005年4月1日付けで締結した複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書（以下「協定書」という。）について、以下のとおり取り扱うことに合意する。

- 1 憲章本文中「学部、研究科及び研究所等」とあるのは、東京工業大学における「学院」を含むものとする。
- 2 協定書本文中「2年次以上の学科等に所属する学部学生」とあるのは、東京工業大学における「2年次相当以上の系に所属する学士課程学生」を含むものとする。
- 3 この合意書は、2016年4月1日から効力を有するものとする。

2016年 4月 1日

東京医科歯科大学長	吉澤 靖之
東京外国語大学長	立石 博高
東京工業大学長	三島 良直
一橋大学長	蓼沼 宏一

「四大学連合憲章」及び四大学連合に係る協定書等に関する覚書

東京外国語大学、東京科学大学及び一橋大学は、2001年3月15日付けで締結した四大学連合憲章（以下「憲章」という。）及び憲章に基づき2024年9月30日以前に締結した四大学連合に係る協定書その他の合意（以下「協定書等」という。）について、以下のとおり取り扱うことに合意する。

- 1 憲章の題名及び本文中「四大学」とあるのは、「三大学」に読み替えるものとする。
 - 2 憲章本文中「東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学」とあるのは、「東京外国語大学、東京科学大学及び一橋大学」に読み替えるものとする。
 - 3 協定書等（二大学間又は三大学間の協定書等を含む。）については、前二項の例により取り扱うものとする。
 - 4 この覚書は、2024年10月1日から効力を有するものとする。
- 2024年10月1日

東京外国語大学長	林 佳世子
東京科学大学長	田中 雄二郎
一橋大学長	中 野 聡

複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書

東京外国語大学、東京科学大学及び一橋大学は、「三大学連合憲章」に基づき、研究教育の内容に応じて、相互に緊密に連携し、学生、教員、研究者の交流を活発化させることにより、各大学の研究教育の水準を、より一層向上させることに合意し、次のとおり協定を締結する。

1. 「複合領域コース」(特別履修プログラム)の設定

- (1) 一大学では提供できない教育プログラムを、二大学又は三大学が、相互に提供するため、「複合領域コース」を設定し、これまでの高等教育機関が育てることのできなかった新しい人材を育成することを目的とする。
- (2) 2年次以上の学科等に所属する学部学生(東京科学大学の学院においては、2年次相当以上の系に所属する学士課程学生をいう。)を対象とする。ただし、東京科学大学の医学部・歯学部においては、全学科共通科目を修得した学生に限ることとする。
- (3) 履修を希望する学生の募集、選考方法は、各コースごとに定める。
- (4) 学生は、他大学の「特別聴講学生」とし、図書館その他の施設を利用できるものとする。
- (5) 学生が、他大学で取得した単位は、所属大学の単位に換算(単位互換)するものとする。

2. 「編入学」の実施

「複合領域コース」を履修している学生に対し、関連した他大学への「編入学」の途を開くものとする。

3. 「複数学士号」(dual degree)の創設

関連する二大学の間で、「複合領域コース」を履修した学生に対する「複数学士号」の制度を創設し、これを組織的に推進する。

4. 上記2、3の実施に関する共通細目は、別途、定める。

5. 上記1～3の実施に関し必要な事項は、関連大学相互に、別途、協定を締結するものとする。

6. 上記1～3のほか、さらに、三大学の連携を拡充しようとする場合、又は、本協定の内容に疑義を生じた場合は、三大学において、その都度、協議するものとする。

7. 本協定は、2005年4月1日より実施の『複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する三大学協定書』に代わるものとして、2024年10月1日より効力を有するものとする。

2024年10月 1日

東京外国語大学長

林 佳世子

東京科学大学長

田中 雄二郎

一橋大学長

中野 聡

「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目

1. 「複合領域コース」の設定及び「編入学」

- (1) 他大学の2年次終了後、受入大学の3年次に編入させる。ただし、東京科学大学医学部保健衛生学科については、2年次に編入させる。
- (2) 編入学の受入数は、各学部（東京科学大学においては各学院及び各学部）ごとに、若干名とする。
- (3) 編入学の受入れは、原則として、受入大学において、所属大学の履修成績、「複合領域コース」の履修成績、学習計画、学生の意欲などの総合判定により、決定する。
- (4) 東京科学大学医学部医学科及び歯学部歯学科は、原則として、「複合領域コースに関する協定書」による編入学の受入れを行わない。

2. 複数学士号

- (1) 実施の形態は、次の6通りとする。
 - ① 一橋大学又は東京科学大学の学院に所属する学生が、当該大学に、3～4年間在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（工学）等を授与された上、東京科学大学の学院、一橋大学又は東京外国語大学に学士入学し、東京科学大学の学院においては原則2年以上、一橋大学又は東京外国語大学においては1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士（工学）等、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与されること。
 - ② 東京科学大学医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科の学生が、4年間在学し、所定の単位を取得し、学士（看護学）又は学士（保健学）、学士（口腔保健学）を授与された上、一橋大学又は東京外国語大学に学士入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与されること。
 - ③ 一橋大学又は東京科学大学の学院に所属する学生が、当該大学に、2年間在学し、一旦退学し、東京科学大学の学院、一橋大学又は東京外国語大学に編入学し、東京科学大学の学院においては原則2年間以上、一橋大学又は東京外国語大学においては1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士（工学）等、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与された上、一橋大学又は東京科学大学の学院に再入学し、一橋大学においては1～2年程度、東京科学大学の学院においては原則2年間以上在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（工学）等を授与されること。
 - ④ 東京科学大学医学部医学科又は歯学部歯学科の学生が、2年間在学し、一旦退学し、一橋大学又は東京外国語大学に編入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与された上、東京科学大学医学部医学科又は歯学部歯学科に再入学し、4年間在学し、学士（医学）又は学士（歯学）を授与されること。
 - ⑤ 一橋大学又は東京外国語大学の学生が、当該大学に、3～4年在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与された上、東京科学大学医学部保健衛生学科に学士入学し、国家試験受験資格を具備するため、3年間在学し、学士（看護学）又は学士（保健学）を授与されること。
 - ⑥ 東京外国語大学の学生が、4年間在学し、所定の単位を取得し、学士（言語・地域文化）を授与された上、一橋大学又は東京科学大学の学院に学士入学し、一橋大学においては1～2年程

度、東京科学大学の学院においては原則２年間以上在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士（商学）等又は学士（工学）等を授与されること。

- (2) 上記（１）以外の形態をとる必要が生じた場合は、その都度、関連大学相互において、協議するものとする。
- (3) 上記（１）③及び④の再入学にあたっては、入学料及び検定料は不徴収とする。編入学大学において、学士（工学）等、学士（商学）等又は学士（言語・地域文化）を授与されなかった者も同様とする。
- (4) 「学士入学」、「編入学」の受入数、受入方法については、前記１の（２）及び（３）を準用する。ただし、東京科学大学医学部医学科及び歯学部歯学科については、一般公募される「学士編入学制度」に、東京外国語大学については、一般公募される「編入学制度」によるものとする。
- (5) 本実施細則において、東京科学大学の学院及び医学部保健衛生学科への「編入学」については、これを「転入学」と読み替える。

3. この実施細目は、2023年４月１日より実施の『「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目』に代わるものとして、2024年10月１日から実施する。なお、2024年10月1日以前に東京工業大学又は東京医科歯科大学医学部保健衛生学科若しくは歯学部口腔保健学科を卒業した者については、それぞれ東京科学大学の学院又は東京科学大学医学部保健衛生学科若しくは歯学部口腔保健学科を卒業したものとみなして、この実施細目を適用する。

東京科学大学学則（抄）

（再入学）

- 第15条 本学を卒業した者（第17条第2項第1号及び第4項第2号により編入学を願い出た場合を除く。）又は第21条若しくは第22条の規定により退学した者が再び入学を願い出たときは、前条の規定にかかわらず、収容定員に余裕がある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。
- 2 三大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修する者（以下「複合領域コース履修者」という。）が第22条の規定により退学し、協定大学に編入学した後再び入学を願い出て入学を許可された場合であって、学院へ再び入学するときは3年次相当に、医学部医学科又は歯学部歯学科へ再び入学するときは退学時の在籍学科の在籍年次以上に入学する。
- 3 再入学に関し必要な事項は別に定める。

（転入学）

- 第16条 他の大学に在学している者で、本学に転入学を願い出る者があるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、学力その他に基づき選考の上、入学を許可することがある。
- 2 前項の規定により、次の各号に掲げる学院等に転入学を願い出ることができる者は、当該各号に定める大学等に在学する者とする。
- 一 学院 国内の他の大学又は本学と協定を締結している外国の大学
 - 二 医学部医学科 国内の他の大学の医学部医学科
 - 三 歯学部歯学科 国内の他の大学の歯学部歯学科
 - 四 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科 国内の他の大学又は外国の大学
- 3 協定大学に2年以上在学する複合領域コース履修者（第22条の規定により退学した者を除く。）が本学の学院に転入学を願い出て選考の上、入学を許可された場合は3年次相当に、医学部保健衛生学科に転入学を願い出て選考の上、入学を許可された場合は2年次に入学する。

（協定大学編入学のための退学）

- 第22条 複合領域コース履修者が協定大学に編入学するときは、願い出て退学するものとする。

（入学金）

- 第37条 入学、再入学、転入学及び編入学の選考に合格した者で入学のため所要の手続をとりようとする者は、所定の期日までに別に定める入学金を納付しなければならない。ただし、第42条の規定により入学金の免除又は徴収猶予を申請した者については、免除又は徴収猶予を許可し、又は不許可とするまでの間、入学金の徴収を猶予する。
- 2 前項の規定にかかわらず、第22条の規定により退学した複合領域コース履修者が協定大学に編入学した後、再入学する場合は、入学金は徴収しないものとする。

④【参考1】各種様式一覧

	名称	内容	対象
別紙様式1	三大学連合「複合領域コース」履修願	複合領域コースに指定された理工学系科目を履修申告する場合	協定大学生 (医歯学系学生を含む)
別紙様式2	辞退届	理工学系学生が複合領域コースを辞退する場合	理工学系学生
別紙様式3	三大学連合「複合領域コース」における学修申告について	複合領域コースとは関係のない科目を履修申告する場合	協定大学生 (医歯学系学生を含む)
別紙様式4	三大学連合「複合領域コース」の修了について(申請)	理工学系学生が複合領域コースの修了を申請する場合	理工学系学生
別紙様式5	三大学連合「複合領域コース」所属コースの変更について(申請)	理工学系学生が複合領域コースの所属コース変更を申請する場合	理工系学生

(年度等) 三大学連合「複合領域コース」履修願

年 月 日

東京科学大学長 殿

所 属 大 学	大 学
所 属 複 合 領 域 コ ー ス	コ ー ス
所属学部・学科	学部 学科
学 籍 番 号	
氏名（フリガナ）	
連絡先電話番号	（自宅・携帯）
Eメールアドレス	

私は、三大学連合憲章に基づく複合領域コースとして貴大学開講の下記科目を履修したいので、許可願います。

記

科目コード	科目名	担当教員	単位	開講 クォーター	開講曜日	開講時間

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

受付日	処理日
/	/

年 月 日

東京科学大学長 殿

辞 退 届

私は、複合領域コースの特別聴講学生を辞退したいので、下記のとおり届け出ます。

記

フリガナ					
氏 名					
学 籍 番 号					
所属学院・系	東京科学大学	学院	系		
所属複合領域 コース名・協定 大 学 名	コース (大学)				
辞 退 理 由					
現在履修中の 科 目 名 ※ 大学(東京科学 大学においては 分野) 名も記 入すること	授業科目名 (大学)	担当教員	単 位	開講曜日	開講時限

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

受付日	処理日
/	/

年 月 日

東京科学大学長 殿

_____大学

(氏名) _____

三大学連合「複合領域コース」における学修申告について

私は、貴学における_____年____クォーターの授業申告に関し、私が所属する三大学連合「複合領域コース」の_____コースとは関係ない下記の科目を申告しました。

私は、これらの科目が (1) 複合領域コース修了の要件に含まれないこと、および (2) 単位修得後の単位互換は認められないことを了解しております。

記

授 業 科 目 名	担当教員	単 位	開講曜日	開講時限

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

年 月 日

三大学連合「複合領域コース」の修了について（申請）

東京科学大学長 殿

所 属 系 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

私は、下記の単位を修得したことにより、三大学連合「複合領域コース」の修了を申請します。

記

所属コース名		コース	所属年月	年 月	
開講大学（東京科学大学においては分野名を記入）		科 目 名	単位数	教務 確認	備 考
合計		単位			
【自大学/自分野		単位	－ 他大学/他分野(1)	単位	－ 他大学/他分野(2)
				単位	【

※以下に該当する科目がある場合は、備考にその旨を記載すること。

・修得予定の後期開講科目（9月卒業の場合は前期開講科目）で修了要件を満たす→「修得予定」

・東京科学大学理工学系開講のコース外科目を、コースの科目として取り扱うことについてコース主査の承認を得ている→「コース外科目承認済」

年 月 日

三大学連合「複合領域コース」の修了について（回答）

このことについて、卒業資格が得られることを条件とし、申請のとおり単位を修得し、所定の修了要件を満たした場合、修了を認めます。

_____コース担当主査 氏名 _____

年 月 日

東京科学大学長 殿

所 属 系 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

三大学連合「複合領域コース」所属コースの変更について（申請）

私は、_____年度____期より、三大学連合「複合領域コース」において現在、所属しているコースを変更することを許可していただきたく申請いたします。

記

現所属コース	複合領域コース
↓	
所属希望コース	複合領域コース

変更理由

(注：以下、各コース担当主査の承認を得た上で提出してください)

三大学連合「複合領域コース」所属コースの変更について（回答）

このことについて、申請のとおり所属コースの変更を認めます。

現所属複合領域コース 担当主査 _____

所属希望複合領域コース担当主査 _____

⑤【参考2】コース別授業科目一覧（東京科学大学理工学系科目）

2025年3月更新

全学生共通：注意事項

- ・ 時間割は、時間割表やシラバスで確認すること。
集中講義の日程は、シラバスや掲示で確認し、わからないものは直接担当教員に問い合わせること。
- ・ 科目コードは、以下を示しています。
例 ABC.D123 → ABC：開講元コード
D：分野コード
数字：レベルコード※
※レベルコードの目安
100番台：導入・基礎科目、200番台：基盤科目（2年次相当）、300番台：展開科目（3年次以上相当）
相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

本学理工学系学生向け

コース履修に関するお知らせや最新情報等は、専用ページに掲載しています。
(右 QR コードからアクセスできます。)



協定大学生及び本学医歯学系学生向け

本学理工学系科目のシラバス、授業時間割、授業日程、講義室、アクセス等については、
協定大学生向けの専用ページにリンクを掲載しています。
(右 QR コードからアクセスできます。)



2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[1] 海外協力コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター	備考
※A,D	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q	
※A,D	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q	
※A,D	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q	
C	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q	
A,D	電気電子系	EEE.C331	コンピュータアーキテクチャ（電気電子）	1-0-0	3Q	
A,D	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q	
D	電気電子系	EEE.P321	電力工学第一	2-0-0	2Q	
A,D	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q	
※B	応用化学系	CAP.B211	有機化学第一（アルカン）（応用化学）	1-0-0	1Q	
B	応用化学系	CAP.B212	有機化学第二（アルケン）	1-0-0	1Q	
B	応用化学系	CAP.O203	有機化学第3（ベンゼン・C-0）	1-0-0	3Q	
B	応用化学系	CAP.N201	無機化学1（結合）	1-0-0	1Q	
B	応用化学系	CAP.N202	無機化学2（構造・反応）	1-0-0	2Q	
A,B	応用化学系	CAP.G205	化学工学4（移動現象基礎）	1-0-0	4Q	
A,B	応用化学系	CAP.G302	移動現象工学（流動・伝熱）	1-0-0	1Q	
A,B	応用化学系	CAP.G203	化学工学2（分子拡散）	1-0-0	3Q	
A,B	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q	
A,B	応用化学系	CAP.G305	分離工学1（流体系）	1-0-0	3Q	
A,B	応用化学系	CAP.G306	分離工学2（固相系）	1-0-0	4Q	
E	土木・環境工学系	CVE.B311	河川工学	2-0-0	3Q	
○	融合理工学系	TSE.C301	国際開発共創概論	2-0-0	2Q	英語開講
○	融合理工学系	TSE.C302	応用経済学概論	2-0-0	3Q	英語開講
○	融合理工学系	TSE.C303	プロジェクトマネジメント	1-0-1	1Q	英語開講
○	融合理工学系	TSE.C312	社会環境政策概論	2-0-0	3Q	英語開講
△	融合理工学系	TSE.M201	常微分方程式と物理現象	1-1-0	1Q	英語開講
△	融合理工学系	TSE.M202	偏微分方程式と物理現象	1-1-0	2Q	英語開講
△	融合理工学系	TSE.M203	線形システム論	1-1-0	2Q	
△	融合理工学系	TSE.M204	統計とデータ解析	1-1-0	1Q	

（備考）

- ・推奨等欄に「※」が付されているものは、東京科学大学理工学系分野学生においては本コースの修了要件に含めることはできない。
- ・推奨等欄に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。
- ・推奨等欄に「△」が付されているものは、A以外を含む科目（△をのぞく）を履修する場合に、数学に自信のない学生に履修してほしい科目である。
- ・特に定まった組み合わせはないが、A（一般）、B（化工系）、C（機械系）、D（電気・情報系）、E（土木系）となっている。

・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。

100番台：導入・基礎科目、200番台：基盤科目（2年次相当）、300番台：展開科目（3年次以上相当）

相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[2]総合生命科学コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	生命理工学系	LST.A201	物理化学第一（生命の熱力学）	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A202	有機化学第一(アルカン，ハロアルカン)	2-0-0	1Q
○	生命理工学系	LST.A203	生物化学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A206	物理化学第二（生命の化学平衡，反応速度論）	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A207	有機化学第二(アルコール，アルケン)	2-0-0	2Q
○	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三（分子軌道，相互作用，分光学）	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A212	有機化学第三(ベンゼン，ケトン)	2-0-0	3Q
○	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A217	有機化学第四(カルボニル化合物，アミン)	2-0-0	4Q
○	生命理工学系	LST.A218	生物化学第二	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A241	生命統計学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A243	発生生物学	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A246	生命情報学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A247	基礎生物無機化学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A248	遺伝学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A341	生物物理化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A343	医薬品化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A347	進化生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A350	生命情報学2	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A351	生命情報学3	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A361	光合成科学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A363	環境生物工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A364	酵素工学	2-0-0	1Q

(備考)

・推奨等欄に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。

・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。

100番台：導入・基礎科目，200番台：基盤科目（2年次相当），300番台：展開科目（3年次以上相当）

相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[3]生活空間研究コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	建築学系	ARC.D202	西洋建築史	2-0-0	4Q
	建築学系	ARC.P302	ランドスケープ	2-0-0	1Q
	建築学系	ARC.P303	住環境計画	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.B311	河川工学	2-0-0	3Q
	土木・環境工学系	CVE.C311	地盤調査・施工学	2-0-0	4Q
○	土木・環境工学系	CVE.D201	土木計画学	2-0-0	1Q
○	土木・環境工学系	CVE.D231	景観工学	2-0-0	3Q
	土木・環境工学系	CVE.D301	交通システム工学	2-0-0	1Q
	土木・環境工学系	CVE.D311	公共経済学	1-0-0	2Q
	土木・環境工学系	CVE.D313	インフラストラクチャーの都市計画	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.D316	景観設計演習	0-0-2	4Q
	土木・環境工学系	CVE.D317	気候変動の影響・適応・緩和	1-0-0	3Q
	土木・環境工学系	CVE.E201	コンクリート工学	2-0-0	3Q
○	土木・環境工学系	CVE.G310	水環境工学	2-0-0	2Q
	土木・環境工学系	CVE.M203	測量学	2-0-0	4Q
○	土木・環境工学系	CVE.N210	社会基盤と環境-概論	2-0-0	1Q
	土木・環境工学系	CVE.N310	社会基盤と環境－特別講義	2-0-0	3～4Q
○	融合理工学系	TSE.A314	水・物質循環システム概論	1-0-0	4Q

(備考)

・推奨等欄に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。

・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。

100番台：導入・基礎科目，200番台：基盤科目（2年次相当），300番台：展開科目（3年次以上相当）
相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[4]科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	文系教養科目	—	「人文系ゼミ」「社会科学系ゼミ」「融合系ゼミ」	0-2-0	1~2Q, 3~4Q
	文系教養科目	LAH.S303	法学（民事法・知的財産権）C	2-0-0	3Q
	文系教養科目	LAH.T307	意思決定論C	2-0-0	3Q
※	理工系教養科目（化学）	LAS.C101	無機化学基礎	1-0-0	1Q
※	理工系教養科目（化学）	LAS.C103	有機化学基礎	1-0-0	1Q
※	理工系教養科目（化学）	LAS.C105	量子化学基礎	1-0-0	3Q
※	理工系教養科目（化学）	LAS.C107	化学熱力学基礎	1-0-0	3Q
※	理工系教養科目（情報）	LAS.I111	情報リテラシ第一	0.5-0.5-0	1Q
※	理工系教養科目（情報）	LAS.I112	情報リテラシ第二	0.5-0.5-0	2Q
※	理工系教養科目（情報）	LAS.I121	コンピュータサイエンス第一	0.5-0.5-0	3Q
※	理工系教養科目（情報）	LAS.I122	コンピュータサイエンス第二	0.5-0.5-0	4Q
※	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q
※	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q
※	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q
	機械系	MEC.D201	機械力学	1.5-0.5-0	3Q
	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q
○	機械系	MEC.I312	モデリングと制御	2-0-0	1Q
○	機械系	MEC.A202	機械系リテラシー	1-1-0	1Q
○	システム制御系	SCE.P202	システム創造設計	2-0-0	1Q
	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
○	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
○	電気電子系	EEE.M221	計算アルゴリズムとプログラミング	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.P361	電気法規および施設管理	1-0-0	4Q
	電気電子系	EEE.P396	一般機械工学	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.C205	通信理論（情報通信）	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.C209	代数系と符号理論	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.C214	通信方式	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.C301	ネットワーク基礎理論	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.H212	オートマトンと言語（情報通信）	2-1-0	3Q
	情報通信系	ICT.H313	感覚知覚システム	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.H318	人工知能基礎（情報通信）	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.I203	交流回路	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.I207	線形回路	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.I211	論理回路設計	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.I216	計算機論理設計（情報通信）	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.I303	集積回路設計	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.I308	計算機アーキテクチャ（情報通信）	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.I312	線形電子回路	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.M202	確率と統計（情報通信）	2-1-0	1Q
	情報通信系	ICT.M215	離散構造とアルゴリズム	2-1-0	4Q
	情報通信系	ICT.M310	数理計画法	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.M316	数値解析（情報通信）	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.P204	プログラミング基礎（情報通信）	1-0-1	1Q
	情報通信系	ICT.P208	プログラミング発展	1-0-1	2Q
	情報通信系	ICT.S206	信号とシステム解析	2-1-0	2Q
	情報通信系	ICT.S210	ディジタル信号処理	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.S302	関数解析と逆問題	2-0-0	1Q
○	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q

[4]科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	材料系	MAT.A203	材料量子力学	2-0-0	1Q
※	材料系	MAT.A204	材料熱力学	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.C205	セラミックス概論	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.M202	統計力学 (M)	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.P211	有機化学(構造Ⅰ)	1-0-0	1Q
	材料系	MAT.P212	有機化学(構造Ⅱ)	1-0-0	2Q
	材料系	MAT.P213	有機化学(反応)A	1-0-0	3Q
	材料系	MAT.P214	有機化学(反応)B	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.P307	電気化学(P)	2-0-0	1Q
※	応用化学系	CAP.B211	有機化学第一 (アルカン) (応用化学)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.B212	有機化学第二 (アルケン)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.O203	有機化学第3 (ベンゼン・C-O)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.H203	物理化学3 (反応速度)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.H303	分子運動論	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.H205	量子化学1 (量子力学)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.H206	量子化学2 (分子軌道)	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.Y307	高分子材料化学	1-0-0	4Q
	情報工学系	CSC.T241	計算基礎論	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T242	確率論・統計学	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T251	オートマトンと形式言語	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T252	論理回路理論	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T261	情報論理	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T262	アセンブリ言語	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T272	人工知能	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T342	最適化基礎	2-0-0	4Q
	情報工学系	CSC.T343	データベース	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T345	コンピュータネットワーク	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T351	システム解析	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T352	パターン認識	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T353	生命情報解析	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T362	数値計算法	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T363	コンピュータアーキテクチャ	2-1-0	3Q
	情報工学系	CSC.T371	システムソフトウェア	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T372	コンパイラ構成	1-1-0	2Q
	情報工学系	CSC.T373	動的システム	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T374	システム制御	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A201	物理化学第一 (生命の熱力学)	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A202	有機化学第一(アルカン, ハロアルカン)	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A203	生物化学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A206	物理化学第二 (生命の化学平衡, 反応速度論)	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A207	有機化学第二(アルコール, アルケン)	2-0-0	2Q
○	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三 (分子軌道, 相互作用, 分光学)	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A212	有機化学第三(ベンゼン, ケトン)	2-0-0	3Q
○	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A217	有機化学第四(カルボニル化合物, アミン)	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A218	生物化学第二	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A241	生命統計学	2-0-0	1Q

[4] 科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A246	生命情報学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A247	基礎生物無機化学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A248	遺伝学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A341	生物物理化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A343	医薬品化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A347	進化生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A351	生命情報学3	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A361	光合成科学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A363	環境生物工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A364	酵素工学	2-0-0	1Q

(備考)

- ・推奨等欄に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。
- ・推奨等欄に「※」が付されているものは、東京科学大学理工学系分野学生においては本コースの修了要件に含めることはできない。

・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。

100番台: 導入・基礎科目, 200番台: 基盤科目(2年次相当), 300番台: 展開科目(3年次以上相当)

相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[5] 技術と経営コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.H318	人工知能基礎（情報通信）	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A206	オペレーションズ・リサーチ 基礎	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A330	オペレーションズ・リサーチ応用	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.C203	工業心理学	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.C301	経営情報システム	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.C304	人間工学	2-2-0	1～2Q
	経営工学系	IEE.D332	イノベーション論	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.A203	数理工学	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.C302	品質管理	1-1-0	4Q
	経営工学系	IEE.C303	生産管理	2-0-0	休講
	経営工学系	IEE.C305	データ収集・分析	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.D301	経営戦略・組織論	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q

(備考)

- ・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。
100番台:導入・基礎科目, 200番台:基盤科目(2年次相当), 300番台:展開科目(3年次以上相当)
相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[6]文理総合コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	物質理工学院	XMC.A201	基礎工業数学第一a	1-0-0	1Q
	物質理工学院	XMC.A202	基礎工業数学第一b	1-0-0	2Q
	物質理工学院	XMC.A203	基礎工業数学第二a	1-0-0	3Q
	物質理工学院	XMC.A204	基礎工業数学第二b	1-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A201	経営・経済のための基礎数理	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.A202	経営・経済数学	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.A203	数理工学	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.A204	経営・経済のための確率	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.A205	経営・経済のための統計	1-1-0	2Q
	経営工学系	IEE.A206	オペレーションズ・リサーチ 基礎	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A330	オペレーションズ・リサーチ応用	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B201	ミクロ経済学第一	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B202	ミクロ経済学第二	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.B203	マクロ経済学第一	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.B204	マクロ経済学第二	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.B205	非協力ゲーム理論	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.B206	実験経済学	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.B208	社会と経済	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.B301	計量経済学	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B302	協力ゲーム理論	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B331	持続可能社会・経済論	2-0-0	1～2Q
	経営工学系	IEE.B333	環境経済学	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.B334	数量経済史	2-0-0	休講
	経営工学系	IEE.B335	比較経済分析	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.B336	応用計量経済学	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.B337	経営・経済のためのデータ分析	1-1-0	2Q
	経営工学系	IEE.C203	工業心理学	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.D201	経営管理論	1-1-0	1Q
	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	2Q
	数理・計算科学系	MCS.T212	確率論基礎	2-1-0	2Q
	数理・計算科学系	MCS.T223	数理統計学	2-1-0	3Q
	数理・計算科学系	MCS.T302	数理最適化	2-1-0	1Q
	数理・計算科学系	MCS.T312	マルコフ解析	2-0-0	2Q
	数理・計算科学系	MCS.T333	情報理論	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	2Q
★	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三（分子軌道，相互作用，分光学）	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	1Q
	建築学系	ARC.P305	国土・都市計画論	2-0-0	4Q

[6]文理総合コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	土木・環境工学系	CVE.M202	システム数理基礎・演習	1-1-0	2Q

(備考)

- ・推奨等欄に「★」が付されている科目は、協定大学及び医歯学系分野の学生は履修できません。
- ・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。
100番台:導入・基礎科目, 200番台:基盤科目(2年次相当), 300番台:展開科目(3年次以上相当)
相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[7] 医用工学コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
	機械系	MEC.C201	材料力学	1.5-0.5-0	1Q
	機械系	MEC.C211	弾塑性力学	2-0-0	3Q
	機械系	MEC.J333	トライボロジーの基礎	1-0-0	3Q
	システム制御系	SCE.C201	動的システム基礎	2-0-0	2Q
	システム制御系	SCE.M206	計測・信号処理基礎	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.C301	電子計測	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.M241	離散時間システム	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.C205	セラミックス概論	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.C206	セラミックスプロセス	2-0-0	4Q
	材料系	MAT.M202	統計力学 (M)	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.M308	金属電気化学	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.P221	有機材料構造A	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.P321	有機材料構造B	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.G203	化学工学2 (分子拡散)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.G205	化学工学4 (移動現象基礎)	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.G305	分離工学1 (流体系)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.G306	分離工学2 (固相系)	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.Y302	高分子レオロジー	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.G302	移動現象工学 (流動・伝熱)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.Y304	高分子応用物性	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.Y305	生体高分子化学	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.Y307	高分子材料化学	1-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q

・学士課程の科目のレベルは、科目コードの百の位で番台として表しています。
100番台：導入・基礎科目，200番台：基盤科目（2年次相当），300番台：展開科目（3年次以上相当）
相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。

2025年度 三大学連合複合領域コース授業科目一覧＜東京科学大学理工学系分野＞

[8] 国際テクニカルライティングコース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
②	英語科目	LAE.E131	英語スピーキング演習第一	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E132	英語スピーキング演習第二	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E133	英語スピーキング演習第三	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E134	英語スピーキング演習第四	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E141	英語プレゼンテーション演習第一	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E142	英語プレゼンテーション演習第二	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E143	英語プレゼンテーション演習第三	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E144	英語プレゼンテーション演習第四	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E151	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第一	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E152	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第二	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E153	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第三	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E154	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第四	0-1-0	4Q
①	英語科目	LAE.E155	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第一	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E156	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第二	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E157	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第三	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E158	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第四	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E231	英語スピーキング演習第五	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E232	英語スピーキング演習第六	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E233	英語スピーキング演習第七	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E234	英語スピーキング演習第八	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E241	英語プレゼンテーション演習第五	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E242	英語プレゼンテーション演習第六	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E243	英語プレゼンテーション演習第七	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E244	英語プレゼンテーション演習第八	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E251	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第五	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E252	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第六	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E253	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第七	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E254	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第八	0-1-0	4Q
①	英語科目	LAE.E255	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第五	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E256	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第六	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E257	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第七	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E258	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第八	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E341	アカデミックプレゼンテーション第九	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E342	アカデミックプレゼンテーション第十	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E343	アカデミックプレゼンテーション第十一	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E344	アカデミックプレゼンテーション第十二	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E351	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第九	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E352	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第十	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E353	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第十一	0-1-0	休講
②	英語科目	LAE.E354	TOEFL対策セミナー（リスニング&スピーキング）第十二	0-1-0	休講
①	英語科目	LAE.E355	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第九	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E356	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第十	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E357	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第十一	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E358	TOEFL対策セミナー（リーディング&ライティング）第十二	0-1-0	4Q
④	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q
④	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q
④	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q
④	化学系	CHM.A201	安全の化学	1-0-0	1Q
④	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q
④	システム制御系	SCE.P202	システム創造設計	2-0-0	1Q
④	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
④	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
④	情報通信系	ICT.H212	オートマトンと言語（情報通信）	2-1-0	3Q
④	情報通信系	ICT.M202	確率と統計（情報通信）	2-1-0	1Q
④	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	2Q

[8] 国際テクニカルライティングコース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	2025開講 クォーター
④	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q
④	材料系	MAT.A202	材料力学概論F	1-0-0	3Q
④	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
④	応用化学系	CAP.G205	化学工学 4（移動現象基礎）	1-0-0	4Q
④	応用化学系	CAP.G302	移動現象工学（流動・伝熱）	1-0-0	1Q
④	応用化学系	CAP.G203	化学工学 2（分子拡散）	1-0-0	3Q
④	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q
④	応用化学系	CAP.G305	分離工学 1（流体系）	1-0-0	3Q
④	応用化学系	CAP.G306	分離工学 2（固相系）	1-0-0	4Q
④	数理・計算科学系	MCS.T204	計算機科学概論	2-1-0	1Q
④	数理・計算科学系	MCS.T302	数理最適化	2-1-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T241	計算基礎論	2-0-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T242	確率論・統計学	2-0-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T251	オートマトンと形式言語	2-0-0	2Q
④	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	2Q
④	建築学系	ARC.A204	建築法規	1-0-0	2Q
④	建築学系	ARC.P305	国土・都市計画論	2-0-0	4Q
④	建築学系	ARC.S201	材料力学概論A	1-0-0	1Q
④	建築学系	ARC.S202	材料力学概論B	1-0-0	2Q
④	土木・環境工学系	CVE.D313	インフラストラクチャーの都市計画	2-0-0	4Q
④	融合理工学系	TSE.C301	国際開発共創概論	2-0-0	2Q
④	融合理工学系	TSE.C302	応用経済学概論	2-0-0	3Q
④	融合理工学系	TSE.C312	社会環境政策概論	2-0-0	3Q

（備考）

・推奨等欄に記載の科目区分について

①:テクニカルライティング

②:プレゼンテーション及び会議用英語

③:言語学, 言語教育学, 英語学(現在はこの区分に対応する科目は開講していない)

④:情報, 電気電子, 機械, 化学, 航空宇宙, 建設土木工学の各概論

・学士課程の科目のレベルは, 科目コードの百の位で番台として表しています。

100番台:導入・基礎科目, 200番台:基盤科目(2年次相当), 300番台:展開科目(3年次以上相当)

相当年次未満の年次の受講を認めないことがあるので注意すること。